

平成29年度 第8回糸島市教育委員会会議録

(日 時) 平成29年12月22日(金) 13時30分から14時35分まで

(場 所) 糸島市役所本館3階 庁議室

(出席委員) 徳田 敬委員長、西 憲一郎委員(職務代理者)、松尾 実恵委員
宮崎 眞希子委員、家宇治 正幸教育長

(事務局出席者) 泊 早苗教育部長、平野 真也教育総務課長、石硯 昭雄学校教育課長
波多江 修士生涯学習課長、角 浩行文化課長、岡部 裕俊文化課企画監
武田 巨史学校教育課指導係長兼指導主事、原尾 宏志学校教育課指導主事
高田 和宏教育総務課課長補佐兼総務係長

(傍聴人) なし

1 会議事項

- (1) 会議録署名委員の指名
- (2) 会議録の承認
- (3) 教育長報告(福岡教育事務所管内 教育長会)
- (4) 議事

なし

- (5) 協議事項

なし

- (6) 報告事項

- ・平成29年第4回糸島市議会定例会について
- ・教職員離任式・赴任式の日程について
- ・教職員の指導上の措置について
- ・平成28年度生徒指導上の諸問題に関する調査分析について
- ・福岡マラソン2017の結果について

- (7) その他

- ① 各課業務の主な取組状況と課題について
- ② 教育委員から
- ③ その他

2 開 会 13時30分

定足数に達し会議が成立している旨の委員長による報告並びに委員会開会を宣告

(1) 会議録署名委員の指名

(徳田委員長)

会議録署名委員については、宮崎 眞希子委員を指名する。

(2) 会議録の承認

(徳田委員長)

平成29年度第7回教育委員会会議録の承認を求める。

質問、意見はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

本会議録の承認について、異議のない委員の挙手を求める。

(委員全員) 挙手。

(徳田委員長)

異議なしと認め、本会議録については原案どおりで承認された。

(3) 教育長の報告

(徳田委員長)

福岡教育事務所管内教育長会について報告をお願いする。

(家宇治教育長あいさつ)

- ・1年を振り返って、去年は交通事故により児童がなくなる痛ましい事件があったが、本年は幸い本市では大きな児童生徒の事故等はなかった。
外を見ていけば教師の体罰による生徒の自殺や部活中の死亡事故が報道されている。
決して糸島で起きてもおかしくない事案である。引き続き緊張感を持って取り組んでいく必要がある。
- ・働き方改革については中学校で調査し、現在、対策を考えているが、小学校でも中学に倣いながら取り組んでいく必要がある。
- ・コミュニティスクールは全中学校で実施しており、活動が地域に少しずつではあるが見えるようになってきた。さらに進めてまいりたい。

(管内教育長会報告)

平成30年度「学校支援訪問」実施要領について

平成30年度地区別新教育課程説明会実施要領(案)について

～配布資料により説明～

(徳田委員長)

ただいまの報告に関して質問等はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、これで教育長報告を終了し、会議を進行する。
今回は議事、協議事項ともなく 報告事項に移る。

(4) 報告事項

(徳田委員長)

報告事項は5項目予定されている。順次1項目ずつ説明をお願いする。
まず、平成29年第4回糸島市議会定例会について 報告をお願いする。

(泊教育部長 報告)

平成29年12月議会は会期を12月1日から15日までの15日間の日程で開催された。
教育部の補正予算の主なものについては、就学援助費の増額、波多江小学校の外壁改修、
加布里小学校の屋上防水等で追加工事が必要となったため増額要求したもの。
いずれも承認いただいている。
教育委員会に関係する一般質問は配布資料のとおり2名。

～配布資料に基づき報告～

(徳田委員長)

ただいまの報告に関して、質問・意見はないか。

(西委員)

一般質問における県立特別支援学校の設置について、県の整備方針では3地区(大宰府市、
古賀市、糸島市及びその近接する地域)として示されている旨、説明がなされたが、整備の
順番は決まっているのか。

(家宇治教育長)

整備方針は決定しているが用地確保の問題等もあり、地区の順番までは正式に決定してい
ない。糸島市としては最優先に整備をしていただきたいとの立場である。

(徳田委員長)

ほかはないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、会議を進行する。続いて教職員離任式・赴任式の日程について 事務局
から報告をお願いする。

(事務局 平野教育総務課長 配布資料に基づき報告)

区 分	期 日	時 間
離 任 式	平成30年3月30日(金)	11時30分から
赴 任 式	平成30年4月2日(月)	14時30分から

(徳田委員長)

あらかじめ委員の皆さんの日程調整をお願いする。

会議を進行する。続いて教職員の指導上の措置について 事務局から報告をお願いする。

～平野教育総務課長 配布資料に基づき報告～

児童生徒に対する非違行為を行った中学校教諭並びに同事案に対する管理監督責任として、同校校長に対し 12 月 4 日に市教委による指導上の措置を実施した旨、報告。

(徳田委員長)

ただいまの報告に関して、質問・意見はないか。

(松尾委員)

事案について、その後の子どもたちへの心のケアについてはどうか。

(石硯学校教育課長)

今回の事案は被害生徒の保護者の意向・心情を最大限尊重・配慮しながらこれまで対応にあたっている。実際に目撃した生徒はいない。密室で行われている。スクールカウンセラーの派遣等についても検討したが、もともと来ているカウンセラーの相談には応じているが、改めて要請することは行っていない。被害生徒も 2 日後に元気に登校している。

～被害生徒保護者の意向・心情とは～

「ことを大きくすることで、子どもに余計な心理的ストレスを与えたくないこと。」

「当該教諭の将来を案じ、担任交替以上の厳しい処分まで望まれていないこと。」

である。

(徳田委員長)

ほかはないか。

(家宇治教育長)

教育総務、学校教育両課長から説明したように当該教諭の今回の行為については、市教委では処分内申に相当する程度の重大事案であると捉えている。一方で、被害生徒保護者の意向を最大限に尊重した結果、福岡県教育委員会への処分内申せず、市教委にて指導上の措置として処理したものである。特異なケースではあるがご理解願いたい。

(徳田委員長)

ほかはないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、会議を進行する。続いて平成 28 年度生徒指導上の諸問題に関する調査分析について 事務局から報告をお願いする。

～原尾学校教育課指導主事 配布資料に基づき報告～

◎調査対象期間は平成 28 年度間

◎調査項目は暴力行為、いじめ、出席停止、不登校の 4 項目の件数を報告

◎暴力行為の状況について 糸島市では小学校では増加、中学校では減少傾向にある。

要因として感情のコントロールがうまくできない児童生徒が増え、些細なことで暴力に至ってしまう事案が大幅に増大している。

◎いじめの状況について 本市でも全国同様増加傾向にある。1 校当たりの認知件数は少ない。いじめを認知した学校数は小 14 校/16 校、中全校。

◎不登校の状況について 本市では小学校は減少傾向、中学校では増加傾向にある。

不登校児童生徒数が増加した要因としては、家庭の教育力の低下等により基本的な生活習慣などが身につかないことが不登校に結びつくケースが多いこと。人間関係を構築することができない児童生徒が増えていること。学級・学校生活への不安を抱えている児童生徒が増えていることなどが挙げられる。

(徳田委員長)

ただいまの報告に関して、質問・意見はないか。

(西委員)

不登校のきっかけ要因について 小・中ともに、家庭に係る状況が全国的にも本市においても高い傾向にあるが、その具体的な要因として考えられるのは何か。

(石硯学校教育課長)

今回の調査結果のみでは明らかな要因は申し上げにくいですが、スクールソーシャルワーカーなどが関わっている状況からは「朝、起きられない家庭が多い。」や「保護者自身が登校時間に起きていない。」ケースもある。また、保護者自身のメンタル的な要因による場合もある。親に養育能力が備わっていない。基本的な生活習慣が確立できていない。などである。隣近所が個別に立ち入って解決を図ることには賛否両論あり、なかなか難しい面もある。本市では大都市にみられるような非行型の不登校傾向はあまり見られない。

(徳田委員長)

不登校について 中1ギャップ克服の取り組みとして学年毎の不登校生徒の状況はどうか。中学校での復帰率が高く先生方の頑張りが読み取れるが、どういう取り組みが効果があるのか分かればお願いしたい。

(石硯学校教育課長)

中1では高い傾向にある。中1ギャップ解消の取り組みとして実施している35人学級は効果があり、継続して進めていく必要があると考えている。

中学校では保護者の教育放棄的な面も見受けられる。中学校では空いている教員が別室登校等にあたるなど解消に向け取り組んでいることも要因として挙げられる。

(徳田委員長)

ほかはないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、会議を進行する。福岡マラソン2017の結果について 事務局から報告をお願いします。

～波多江生涯学習課長 配布資料により報告～

(徳田委員長)

ただいまの報告について 質問・意見はないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、これで報告事項を終了する。続いてその他に移る。

(5) その他

(徳田委員長)

教育部各課の取組状況及び課題等について事務局から順次、報告をお願いする。

～教育総務課・学校教育課・生涯学習課・文化課 各課長から報告～

(徳田委員長)

以上、各課からの報告について、質問がある委員は挙手をお願いする。

質問・意見はないか。

ないようであり、会議を進行する。

(徳田委員長)

次に(2)教育委員の皆さんから何かあればお願いします。ないか。

(委員全員)

なし。

(徳田委員長)

次に(3)その他、何かあればここでお願いします。

(事務局)

なし。

(徳田委員長)

ないようであり、これで、その他を終了する。

(徳田委員長)

次回の会議は、1月18日(木)の予定としたいが、よろしいか。

(委員全員)

異議なし。

(徳田委員長)

1月18日(木)13時30分からで決定する。

あらためて事務局から通知させる。

以上で平成29年度第8回教育委員会会議を閉会する。

4 閉 会 委員会閉会を宣言 14時35分